

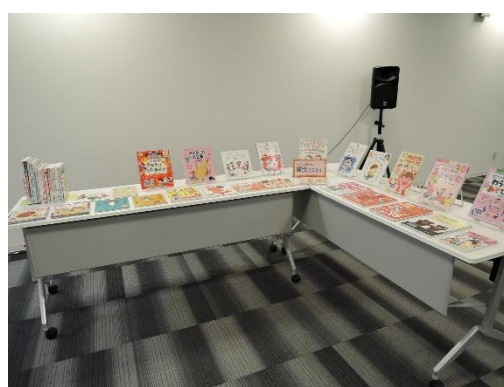
「わらべうた・手遊び～楽しいおはなし会のレシピ～」の開催記録について【令和8年9月5日(土)開催】

高松市図書館では、令和8年9月5日(土)に瓦町 FLAG にて、**図書館ボランティア養成講座「わらべうた・手遊び～楽しいおはなし会のレシピ～」**を開催しました。

本講座は、高松市図書館にて活動されているボランティアの方や、これからボランティア活動を考えている方を対象に、スキルの向上を目的としたものです。

講師として、**轟あさ子氏**(図書館司書/絵本専門士/JPIC 読書アドバイザー)をお招きし、多種多様なわらべうたや手遊びの紹介等、おはなし会のプログラムをより豊かにするのに役立つ講演をしていただきました。

以下は、轟氏による講座内容をまとめたものです。わらべうたや手遊びに興味のある方やボランティア活動を始めてみたい方にとって、参考となる内容ですのでぜひご覧ください。



1 なぜ、おはなし会にわらべうたが必要か

わらべうたの特徴である、シンプルで繰り返しのあるメロディ、リズムやユーモアある言葉は、子どもたちにとって歌いやすく覚えやすいものです。おはなし会の場で歌われることで、子どもの聞く耳は開き、より安心感のある空間になります。また、わらべうたの多くは風土や四季を感じられるものであり、古き良き日本文化の伝承にも繋がります。

2 わらべうた・手遊びを実際にやってみましょう

轟氏選りすぐりの季節のわらべうた・手遊びを参加者全員で一緒にやりながら、紹介していただきました。特別な道具がなくてもすぐにできるわらべうた・手遊びから、手作り「ずくぼんじょ(つくし)」を使った春のわらべうたやどんぐりを使った

かぞえうたまで、豊富な種類のわらべうた・手遊びを学ぶことができました。

また、わらべうた・手遊びから絵本や語りにつなげる一例として、かぞえうたを全員で実践した後に、轟氏によるストーリーテリング（語り）、数のお話「アナンシと五」も披露されました。思いがけずストーリーテリングも体験することができ、参加者にとっても二度美味しい貴重な機会となりました。



3 みんなで輪になって

講座の後半は、参加者全員で輪になって、お手玉をわらべうたに合わせて隣の人へ次々と回したり、チーフを飛ばしたりと、参加者のみなさんはより一体となって、わらべうた遊びを楽しみました。わらべうたに合わせて数を減らしていくものや、じゃんけんで役を交替するものなど様々な場面で使えるわらべうたが盛り沢山の内容でした。

最後は、参加者全員で手を繋いで輪になり「でんでんむし でむし でなかま ぶちわろ」と歌いながら回り、少しずつ輪を小さくしていく「つながり遊び」をして、今回の講座は幕を閉じました。

4 おわりに

赤ちゃん向けのおはなし会では、特にわらべうた中心のものが望ましいとされます。ぜひ積極的に取り入れていきましょう。

また、おはなし会に限らず、身近にいる小さなお子さんと、ちょっとした空き時間があればぜひ一緒にわらべうた・手遊びで楽しんでくださいね。